



2023年1月

2023年アジア連帯委員会（CSA）年頭のご挨拶

あけましておめでとうございます。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

アジア連帯委員会（以下CSAと略す）は、連合、会員組織および個人会員の皆様からの物心両面の支えによって活動を継続しています。本年も変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

CSAは、1981年4月16日に「インドシナ難民共済委員会」として発足し、その後活動内容の変化に伴い3度名称変更して現在に至り、一昨年4月に結成40年を迎えることができました。今日までの長きにわたるご支援ご協力に改めて衷心より感謝申し上げます。

2022年の冬季オリンピック終了直後の2月24日に始まったロシア軍のウクライナ侵略は、いまだに解決せず悲惨な状況が続いています。関連して世界的な食糧不足やエネルギー価格の高騰などを引き起こし、世界各国は物価上昇に困窮しています。早期停戦とロシア軍の完全撤退を強く望むものです。

新型コロナウイルスについては、従来より感染力の強いオミクロン株によって昨年8月に第7波の感染ピークを迎え、医療機関への負担が高いつながっていました。その後、少し落ち着きを見せ始めていましたが年末から年始にかけて第8波の到来といわれています。しかし、経済の活性化のためにいろいろな規制が緩和されており、そのような状況下での感染防御が求められています。一方でオミクロン株用のワクチン接種が進められており、国産初の治療薬も緊急承認されたことは希望の光となっています。

また急激な円安状況が続いていましたが、若干改善されつつあります。しかし、エネルギーをはじめ輸入品価格の高騰がいまだ顕著となっており、海上輸送費も依然として高騰状態を続けています。

CSAはこのような状況を踏まえ、会員組織の皆様と相談しながら活動内容の見直しを含め対処し、昨年9月の定期総会で今後の方針を確定しました。まず支援国ラオス・タイの現状把握と課題抽出を行い今後の支援の在り方を検討するためCSA代表団を2月下旬に現地に派遣します。さらに活動の重点を「救援物資」「小学校建設・補修」「教育支援」の事業と位置付けて取り組んでいきます。以下に簡潔に触れますので、それぞれを目的とした募金活動を含めて、ご理解とご協力をお願いします。

1. 救援物資事業

1981年から取り組んできた「救援衣類を送る運動」では、毎年集約された善意の救援衣料を、タイ・ラオス両国の要請に基づき必要とする人々に配布し、両国政府から感謝されてきました。しかし2020年以降、新型コロナ感染状況および輸送コストの高騰を受け中断し、マスクの配布など代替支援を行ってまいりました。今年度も、同様の位置づけの下、アジアを対象とし保健・衛生面から支援すべく具体的な検討を進めています。

2. 小学校建設・補修事業

ラオス初等教育改善のため、1995年からこれまでに小・中学校24校を建設し寄贈してきました。また、老朽化した校舎を父兄の労務提供も求め計画的に補修しています。



会長 澤田和男

現在、会員団体からの協賛金も活用して25番目校を建設中であり、今年前半に寄贈できる見通しです。一方で、これまでの寄贈校から老朽化による具体的な補修の要請がありますので、何とか資金を工面して対応できるよう検討しています。今後も必要な補修を行う一方、現地からの要請も踏まえ新たな校舎建設・寄贈に向けた検討も進めていきます。

3. 教育支援事業

2002年にラオスでも指折りの優秀校であるサンティパーブ高校に寮を建設・寄贈し、寮生90名の生活と学業を支援することにより、貧困などの事情によって進学が困難な生徒が高等教育を受けられることを可能にしてきました。寮生たちは総じて優秀な成績で卒業後はほぼ全員が進学し、日本への国費留学を果たすなど国を支えるリーダーとして成長している人もいます。今後も高校生寮支援を続けるとともに、ラオスの小学校に教科書、文房具、運動用具などを支援することも検討していきます。

このように私たちの活動は、そこに住み、そこで学んでいる人達にとっては無くてはならないものとなっています。より多くの皆さんに、この活動の内容を知っていただき、ご協力をいただけるよう努力していきますので、本年も従来に増したご支援をよろしくお願ひします。

最後に、2023年が皆様にとって良き一年となることを切望し、年頭の挨拶とさせていただきます。

アジア連帯委員会（CSA）会長 澤田 和男

今年度の事業計画について（第42回定期総会議案抜粋）

事務局長 山崎 高明

I. 活動を取り巻く環境変化と事業の方向性

2022年度からの事業は、アジアの困窮する人々への支援を視野に、当面の主要事業はインドシナ半島諸国における支援活動を主軸とします。これまで積み上げてきた事業の蓄積・ノウハウを活かし、その国の発展に寄与する教育環境の整備と充実化に貢献していくことやコロナ禍の救援活動等、新たにSDGsの推進を意識した事業を行います。また、継続実施している事業の必要な見直しを行いながら、より効果的な事業の展開を行い、その為に連合および支援団体、支援者との連携を

一層緊密に行い、支援国の人々の衛生や教育環境の向上等を目的に、積極的な活動を展開します。

そして、これらの活動を通じて、労働組合・団体会員・個人会員の国際貢献活動の一翼を担う国際NGOとしてその役割を果たします。さらに設立50年に向けて、支援に賛同して頂いているすべての方々との信頼関係を一層強固にし、団体名称に掲げている「アジア」の困窮している人々との連帯を視野に入れながら、支援対象国の拡大も提起します。

II. 今年度の活動計画

1. 救援衣類代替支援の実施について

中古衣類代替支援として、新型コロナウイルス感染対策支援物資（マスク・指触洗剤品、衛生用品他）をタイ社会開発福祉省及びラオス保健省と確認し、CSAラオスコーディネーターや国際労働財団（JILAF）等と連携、現地で調達を行い、現地の小学校・養護学校、貧困地域、支援施設等への寄贈を目指します。

支援対象国はタイ、ラオスの担当省からCSAに救援衣類の寄贈要請文書を受領していることからと両国を優先します。今後はミャンマー、カンボジアへの支援を目指します。



ラオス保健省からのマスク寄贈への感謝状

2. 教育支援 小学校建設・補修活動について

(1) ラオス・ナラオ村小学校新校舎（25番目校）建設

シンフォニアテクノロジー労働組合の協賛によるナラオ村小学校新校舎について、2023年9月第43回定期総会までに工事の完了を予定します。そして、校舎の完成、生徒の入学を終えたところで、当該小学校において、引き渡し式を行います。

(2) ラオス・パホム村小学校(15番目校)の補修 子供たちへの学習の場のみならず、村の重要な施設となっているパホム村小学校のトイレ・天井等の補修について、CSA

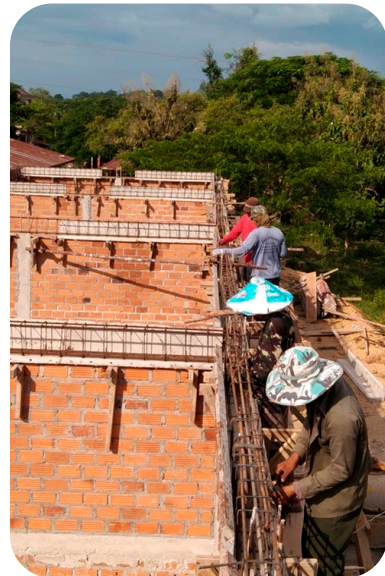


ファサン村小学校校舎（24番目校）

として新たな募金の取り組みを含め、段階的に具現化していきます。

(3) 小学校寄贈団体会員（産別・単組）との連携強化

継続的に支援団体会員へ補修の提案や協力要請を適時行います。また、特別会計<学校建設・補修募金>への積立ての推奨・拡大に取り組みます。



建設中のナラオ村小学校校舎（25番目校）

3. サンティパープ高校生寮支援について

(1) 2022年度のサンティパープ高校生寮支援 予定額

支援予定額は、食費、人件費、学用品等、帰省旅費、通信費、卒寮関係費で合計\$40,000.00=約¥5,600,000とします。

(2) 寮の運営に関係する支援

校長先生や寮監との意見・情報交換等定期的に行い寮運営支援を継続します。また、CSAラオスコーディネーター（当校第1期卒寮生）とZOOM等を活用し、随時情

報共有し、コロナ禍長期化に伴う必要な支援も行います。

(3) 寮運営継続支援と自主運営への取り組み これからの寮運営は、高校が行う事、行政が行う事、CSAが行う事、個人が行う事を協議しながら、寮の自主運営に向け、ラオスの関係省庁や学校関係者等と話し合いを開始し、段階的・計画的に自主的運営を進めます。



笑顔の高校生たち 寮の前で集合写真



サンティパープ高校の先生たちと意見交換

4. 主要事業と募金活動について

(1) 救援物資事業、救援物資募金

アジアの人々を保健・衛生面から支援します。

(2) 小学校建設・補修事業、小学校建設・補修募金

ラオスに小学校を寄贈、補修します。

(3) 教育支援事業、教育支援募金

ラオスの小学生～高校生を教育面で支援します。

改訂版リーフレットを活用し、事業と募金への理解・支援の拡大に取り組みます。ご協力よろしくお願いたします。

5. 2023CSAワーキング・スタディ・ツアーの実施について

(1) 期 間：2023年2月18日(土)～25日(土)

7泊8日（うち1泊は機内）

(2) 目的と訪問先（予定）

① CSAが支援物資を寄贈したラオス・タイを訪ね現状とニーズを把握。

② CSAが建設したラオス小学校を訪問し、校舎及び衛生状況について確認・点検するとともに生徒や教師等と交流。

③ CSAが建設と継続運営しているサンティパーブ高校生寮を訪問し、校長、担当教師から近況報告と寮施設点検、寮生と意見交換。

④ ラオス教育省、ラオス保健省、在ラオス・タイ日本大使館、AARラオス、JILAFバンコク事務所等を訪問し、情報・意見交換。

6. CSAの活動強化に向けて

(1) 団体会員や個人会員の拡大に努めます。

(2) ホームページの活用、新規SNSの導入など、広報・宣伝活動を拡充します。

(3) 団体会員、連合との情報共有と連帯強化を推進します。

(4) 外務省、国際労働財団等との情報交換、日本定住者団体との連携を継続します。

本年もよろしくお願致します 役員一同

会 長	澤田 和 男	アジア連帯委員会
副 会 長	山根木 晴久	連合 副事務局長
副 会 長	鈴木 隆	アジア連帯委員会
事 務 局 長	山崎 高明	アジア連帯委員会
常 任 理 事	森 啓 記	連合 連帯活動局長
〃	田 中 智	UAゼンセン 運動推進局長
〃	榎 本 朋 子	自治労 国際局長
〃	高 橋 英 司	電機連合 中央執行委員 国際部長
〃	木 村 拓 志	JAM 組織グループ グループ長
〃	前 迫 忠 之	基幹労連 事務局次長
〃	寺 澤 環	日教組 国際部長
〃	大 方 幹 子	情報労連 組織連帯局長
〃	内 村 昌 司	連合東京 会長代行
監 事 (会計監査)	大 瀆 直 之	UAゼンセン 副書記長
〃	中 島 基 史	自動車総連 国際局局长

募金者名・募金額の報告

期間：2021年12月1日～2022年11月30日

(順不同)

《救援物資募金》

(団体名)

J A M 様	日産労連様	I H I 労連 堺支部 様
I H I 労連 様	三菱自動車工業労組 様	岡山県貨物運送労組 様
全国ガス労連 様	J A M 北関東 様	

団体合計 ¥1,187,876

(個人名)

河瀬 義則 様	永井 一代 様	田村 正美 様	倉田 莉子 様
足立 ほうりゅう 様	中澤 信之 様	迫井 真澄 様	澤田 和男 様
長葭 光弘 様	西山 友二 様	畑中 喜代江 様	鈴木 隆 様
井岡 由美 様	吉田 可奈 様	並木 賢一 様	山崎 高明 様
川野 雄司 様	熊崎 清子 様	土屋 菜穂子 様	

個人合計 ¥70,611

救援物資募金 合計 ¥1,258,487

《小学校建設・補修募金》

(団体名)

U A ゼンセン 様	シンフォニアテクノロジー 労組 様	キャタピラー 日本 労組 様
J A M 様	三菱自動車工業労組 様	岡山県貨物運送労組 様
基幹 労連 様	交通労連 中国地方総支部 様	全九州産業交通労組 様
日教組 様	J P 労組 東京 様	全九州産交運輸労組 様
サンデン交通労組 様		

団体合計 ¥6,190,442

(個人名)

三郎丸 智子 様	土屋 菜穂子 様	西山 友二 様	並木 賢一 様
小池 孔子 様	長葭 光弘 様	福留 桂子 様	大橋 けい 様
村山 義光 様	川原崎 明子 様	永井 武義 様	塩坂 博史 様
田口 敬子 様	高橋 誠 様	横田 泰文 様	藤井 馨 様
山田 ささえ 様	中澤 信之 様	秋田 八重子 様	雨森 葉子 様
澤田 和男 様	中野 真由美 様	鈴木 隆 様	渡邊 ひな子 様
山崎 高明 様	倉田 莉子 様		

個人合計 ¥105,000

小学校建設・補修募金 合計 ¥6,295,442

《教育支援募金》

(団体名)

U A ゼンセン 様	基幹 労連 様	岡山県貨物運送労組 様
J A M 様	住友重機械労連 様	

団体合計 ¥720,000

(個人名)

河瀬 義則 様	永井 一代 様	土屋 菜穂子 様	熊崎 清子 様
足立 ほうりゅう 様	中澤 信之 様	迫井 真澄 様	澤田 和男 様
長葭 光弘 様	西山 友二 様	畑中 喜代江 様	鈴木 隆 様
井岡 由美 様	吉田 可奈 様	並木 賢一 様	山崎 高明 様
川野 雄司 様	田村 正美 様		

個人合計 ¥76,500

教育支援募金 合計 ¥796,500

募金総合計

¥8,350,429

下記会員の皆様にも、年会費としてご支援いただきました。

期間：2021年12月1日～2022年11月30日

(順不同)

〈団体名〉

連合	様	アルペン労働組合	様	U A ゼンセン	茨城県支部	様
U A ゼンセン	様	カネボウ労働組合	様	U A ゼンセン	群馬県支部	様
自治	様	キャタピラー日本労組	様	U A ゼンセン	千葉県支部	様
電機連	様	ソラストユニオン	様	U A ゼンセン	東京都支部	様
J A M	様	フード連合	様	U A ゼンセン	栃木県支部	様
基幹労連	様	ポケットカードユニオン	様	U A ゼンセン	山梨県支部	様
日教組	様	ホテルラングウッド	様	(一社)全国労働金庫協会	様	
情報労連	様	モンテローザ労組	様	(公財)富士社会教育センター	様	
連合東京	様	ルックユニオン	様	SMBCコンシューマーファイナンス労組	様	
I H I 労連	様	(一財)日本労働会館	様	こくみん共済coop<全労済>	様	
印刷労連	様	(公財)総評会館	様	シノフォニアテクノロジー・グループ・エニオン	様	
A N A 労組	様	(株)友愛会館	様	セントラル硝子労働組合	様	
基金労組	様	(株)Net y	様	(株)コンボーズ・ユニ	様	
航空連合	様	共済ユニオン東京千葉	様	三菱自動車工業労組	様	
交通労連	様	国税労組総連合	様	三菱重工グループ労連	様	
J R 連合	様	三井E & S 労連	様	中央発送株式会社	様	
J P 労組	様	住友重機械労連	様	東亜道路労働組合	様	
J P 労組東京	様	全国ガス労連	様	東京交通労働組合	様	
自動車総連	様	全日本海員組合	様	日本インター・プライス・メンテナンス(株)	様	
森林労連	様	凸版印刷労連	様	明治安田生命保険相互会社	様	
生保労連	様	日産労連	様	有限会社勤労者旅行会	様	
損保労連	様	連合茨城	様	連合近畿地方ブロック協議会	様	
電力総連	様	連合神奈川	様			

団体合計 **¥2,830,000**

〈個人名〉

西澤昇治郎	様	河瀬義則	様	多田とよ子	様	中澤信之	様
土屋菜穂子	様	間宮悠紀雄	様	打田照純	様	福留桂子	様
佐藤正行	様	根岸梅太郎	様	田口敬子	様	永井武義	様
福田美秋	様	小池孔子	様	堀江渥子	様	横田泰文	様
熊谷由美子	様	西村正信	様	有村利範	様	菊池弘	様
鳥居徹夫	様	相馬末一	様	萬家重明	様	並木賢一	様
水野清弘	様	足立ほうりゅう	様	山田ささえ	様	塩坂博史	様
山河博	様	村山義光	様	長石春彦	様	藤井馨	様
山岡みゆき	様	内田成子	様	渡邊ひな子	様	小林直広	様
岩附宏幸	様	澤田和男	様	鈴木隆	様	山崎高明	様

個人合計 **¥129,000**

会費合計 **¥2,959,000**

募金・会費総合計

¥11,309,429



NGO団体

アジア連帯委員会(CSA)

〒105-0014 東京都港区芝2-20-12 友愛会館14階
 TEL. 03 (3769) 4177 FAX. 03 (3769) 4178
 E-メール info@ngo-csa.jp HP www.ngo-csa.jp



HP